

近江商人図鑑

女性の目から見た
近江商人

東近江市商工会女性部



近江商人とは

Q&A



Q1 近江商人はどんな人？

「近江」(現在の滋賀県)を本拠地として、行商などを通じて他国で商いをを行った商人のことを近江商人と言います。近江商人は発祥地によって「高島商人」「八幡商人」「日野商人」「湖東商人」に大別できます。



Q3 どこで商っていたの？

北海道や九州まで、日本全国を市場にしました。近代になってからは、海外で活躍した近江商人もいます。



滋賀県内だけで商いをしていた人は近江商人と呼ばないのね。

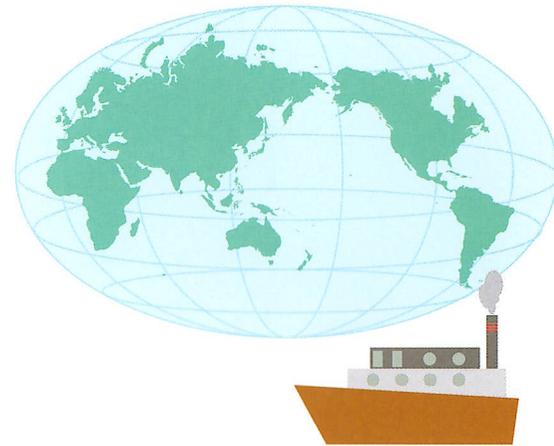


Q2 いつ頃活躍していたの？

江戸中期から明治時代にかけて活躍しましたが、現在も活躍している近江商人も大勢います。



昔の話かと思ったら今でも活躍しているのね！



日本国内だけでなく、海外でも活躍していたのね！



コラム

近江商人の荷物

近江商人は天秤棒に荷物を担いで諸国を行商していました。この荷物は商品ではなく、日用品と、商いに必要な印鑑やかり、磁石、「早道」と呼ばれる小銭入れ、「矢立」、そろばん、商品見本などが入っていました。時に、商荷の総重量は11kg～15kgもあり、1年でおよそ千里(約4,000km)を歩いたという記録が残っています。



Q4 どんな商売をしていたの？

麻や綿など繊維製品の卸や販売、蚊帳・畳表の販売、日野椀の製造販売、酒・醤油・味噌の醸造販売、薬の製造販売、両替商など多岐にわたっています。



こんなに色々な商品を扱っていたんだ！



Q5 近江商人にはどんな人がいるの？

総合商社の伊藤忠商事株式会社、丸紅株式会社。百貨店の高島屋。衣料品の製造・販売を手掛ける株式会社ワコール、ツカモトコーポレーション、化学企業の東洋紡株式会社、寝具メーカーの西川株式会社、繊維商社の外与株式会社、塚喜商事株式会社、保険会社の日本生命保険相互会社など、近江商人をルーツとする有名企業は数多くあります。



えっ！あの会社も、この会社も元は近江商人だったの！？



Q6 どうして今、近江商人が注目されているの？

近江商人は「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」の精神で商いをしました。100年以上前から近江商人が実践してきたこの考え方が、SDGs(持続可能な開発目標)の理念とぴったり重なるため、SDGsが注目されるにしたがって、近江商人が見直されています。



SDGsって最近よく聞くけれど、なんだか難しそう…



でも、「三方よし」なら親しみやすいね！



近江商人について学べば、これから先の時代を生き抜くヒントが得られそうね！



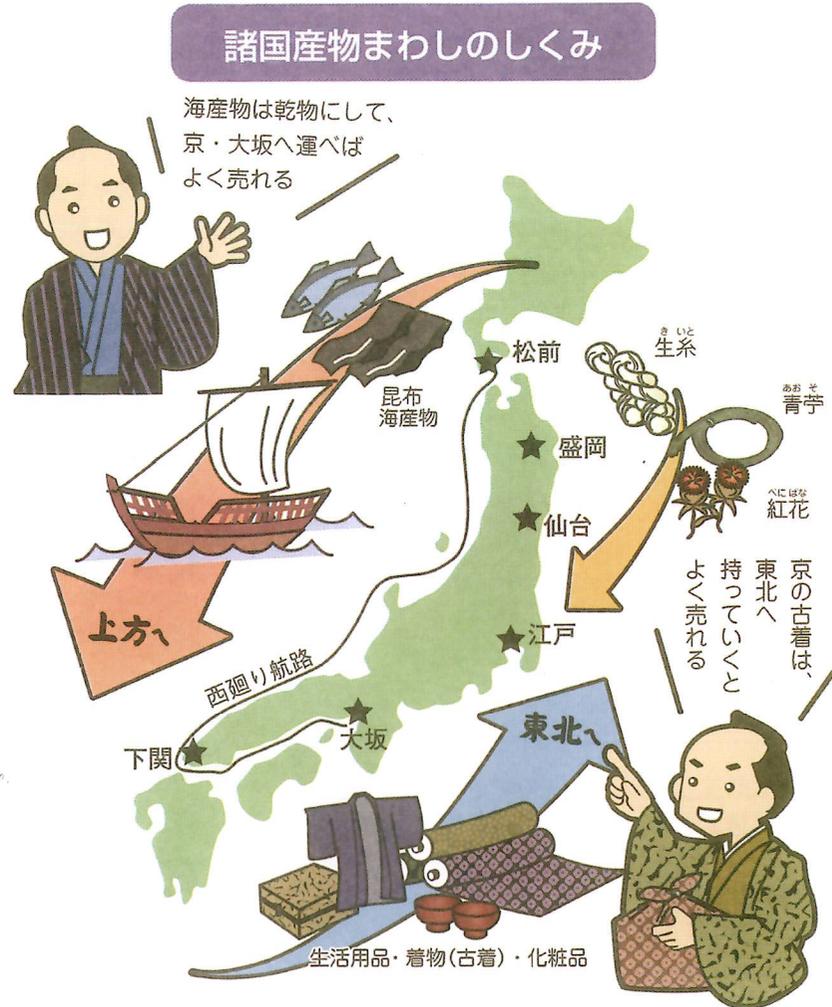
近江商人行商姿(正面)
滋賀大学経済学部附属史料館所蔵

近江商人の商いの特長

日本国内だけでなく、海外でも活躍を続ける近江商人。彼らの成功の秘密は、その商いの特長にあります。

1. 諸国産物廻し

近江商人は、上方（現在の京都・大阪）や近江の産物を、関東や東北を始めとする全国へ行商し、その地の産物（生糸や紅花など）を仕入れて上方や江戸に持ち帰る「諸国産物廻し」（のこぎり商い）と呼ぶ商いを行いました。諸国の物産を交流させ、地場産業の育成にも貢献、江戸や上方の文化が地方へ伝播する一助にもなりました。流通コストを軽減する無駄を省いた商法は、近代商社の原型とも言われています。



イラスト：RINRIEデザイン 堤理恵

コラム

おせち料理は近江商人のおかげ

お正月のおせち料理に欠かせない「ニシン」や「数の子」「ぼうだら」「昆布」は、近江商人が北海道で漁場を開拓し、それを船で上方や江戸に運んだのが始まりで全国に広まったと言われています。つまり諸国産物廻しの商法が貢献したと言えます。



正月の祝い膳の復元

2. 三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）

近江国神崎郡石馬寺村（現在の滋賀県東近江市）の近江商人であった中村治兵衛が幼い跡継ぎに残した遺言状の中に、「たとえ他国に行商に行っても、この商品の着物が、そこの国の人みんなによるこんで着てもらえるように思い、自分の事ばかり思わず、みんなが良くなることを思い、（中略）、その行く先の人を大切に思いなさい…」という内容が書かれています。ここには「三方よし」という言葉は出てきませんが、同様の意味が込められています。のちに近江商人研究者が、この商いの精神を「売り手よし 買い手よし 世間よし」の三方よしと表現しました。

3. 始末してきばる

近江商人は「始末してきばる」をモットーに、日々の暮らしから質素倹約に努め、懸命に働くことを尊重しました。それは経費をとことん切り詰め、良質の商品を安く提供するためです。「始末」とは物を無駄なく使い、倹約することを強調した言葉で、日用品の紙一枚、小さな端切れ一枚の無



着古した どてら

着古した木綿布に何度も同系色の当て布をし、着物全体に細かく丁寧な刺し縫が施されている。

駄を嫌いました。しかし、単なるケチとは違い、必要な時には出費を惜しみませんでした。



端切れが残された裁縫箱

多種多様な端切れや糸、飾り結びや羽織の紐など、大切に木箱に集められていた。

4. 奉公人は地元で採用

商人を多く輩出した五個荘地区には、江戸時代後期には寺子屋が10校もあり、一校当たり110名もの子どもが通っていました。この数は全国的にも多く、しかも女子の割合が他より多かったこと、読み書きに加えそろばんも教えていたことは近江商人の里らしい特長でした。



5. ^{あつ}篤い信仰心

近江商人は「商売は菩薩の業」、商品を届けることは「仏の意思にかなうもの」と考えていました。そのため暴利をむさぼらず、質の悪い商品を売らないという理念を持っていました。正直な商売をすることを何よりも大事にし、行商には懐中仏を携えていました。



手の平サイズの道中厨子

6. 届けるのは商品だけではない

近江商人にとって市場の情報は商機をつかむ最大のポイント。諸国を回ることによって情報ネットワークも構築され、近江商人がもたらす情報は各地の人々に大いに役立ったと言われています。



旧外村宇兵衛邸

7. 驚くほど先進的な会計や 使用人の管理システム

近江商人は西洋の複式簿記とほぼ同じ形態の会計システムを江戸時代から取り入れていました。労働の成果を貨幣に置き換えて評価する習慣がなかった時代に「出精金」という、現代のボーナスの仕組みも採用するなど、社内制度も先進的でした。

8. 押し込め隠居

近江商人の事業継承の判断は大変厳しく、主人の実子であっても能力がないと判断されると家業を継承できませんでした。能力がないと判断されると、生活に必要な財産を与えて隠居させられます。これが「押し込め隠居」です。主人であってもご先祖様の奉公人と考えられていたため、実子が変わって養子を迎えたり、血筋の中から有能な者が抜擢されたりして事業が継承されました。



塚本家正月の集合写真

近江商人の妻の役割

— 大切なビジネスパートナー —

近江商人は主人も奉公人も地元の近江に家（本宅）と家族を置いて他国で商売に励む、現代の“単身赴任”をしていました。そこで重要な役割を果たしていたのが本宅を守る近江商人の「妻」です。

近江商人の妻の主な役割

【家政全般】

農作業、家事、子育て、地域や家の行事、冠婚葬祭、家屋の管理

【後方支援（総務、人事）】

店で必要な物資や食料、人員の補給

【丁稚の採用試験や新人教育】

・丁稚の教育は妻の大きな役割

丁稚の採用試験、面接は妻が担当しました。採用した（見習い）丁稚は本宅で家事や子守などをしながら読み書きそろばん、行儀作法など一人前

の商人になるための基礎教育も受けました。妻は丁稚の適性を判断し、各地の出店に送り出しますが、中には出店に配属されないケースもありました。

・汐踏み

商家の子女は寺子屋で読み書きそろばんを学んだ後、豪商の本家に上女中として奉公に上がり、ここで商家の妻になるための教育を受けました。これを「汐踏み」といいました。豪商の本家の妻は、こうした教育係も担っていました。

・家事

本宅には奉公人や家族が25人から30人ほどおり、日々のまかないだけでも大変な労力でした。また、昭和期の聞きとりでは、全国の出店から主人や奉公人の衣類などが送られてくるので、夏の間は洗濯に追われ、秋から翌春まではつくるい物や仕立て直しなどの縫い物に追われました。そのほか出店で食べる漬物や梅干しなども本宅でまとめて作って各地に送っていました。



しつけ・家事



接客

採用試験

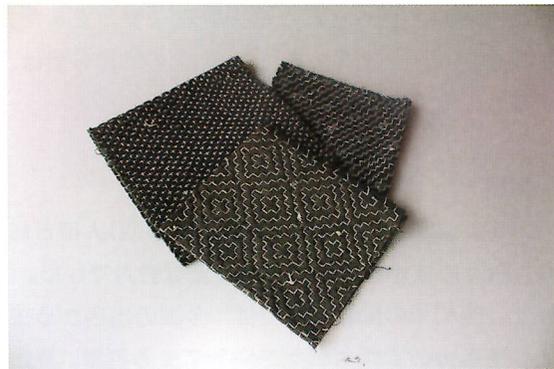


着物の洗い張りをする様子

妻たちの「始末してきばる」

近江商人は「始末してきばる」をモットーとしていましたが、妻たちもいろいろ始末を実践していました。

- ・習字の紙は真っ黒になっても取っておき、焚き付けにする。
- ・3センチくらいの糸でも捨てず、つないで長い糸として使う。
- ・小さな端切れも残し、米袋や小物入れ、座布団などを作る（現代のパッチワーク）。
- ・あて布や刺し子にする。



刺し子した布

刺し子は布を重ね合わせ一針一針、均等な糸目で丁寧に刺すことによって、丈夫にし、長く使えるように工夫している。

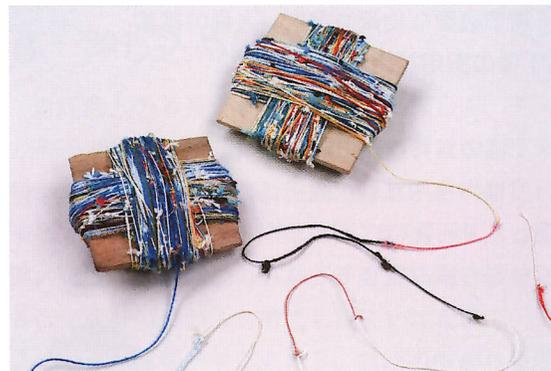


当て布をした脚絆きやはん

脚絆は、すねを保護するために巻いた布。旅商いの多い近江商人には必需品。手づくりの脚絆で、破れたところに当て布をして繕っている。

- ・着物は仕立て直して永く着る。
- ・野菜くずは漬物にする。

単なるケチではなく「物を活かしきる」という儉約の仕方、妻たちの「始末」は徹底していました。また始末している姿を見せることで、子どもや奉公人に始末の大切さを伝えていたようです。それはまた「少しの時間も無駄にせず有効に使う」という「きばる」につながっていました。



余り糸を繋いだ糸 近江八幡市立資料館所蔵

短いものは3~5cm、長くても15~16cm程度の短い糸をひとつひとつ手で結んで一本の長い糸に再生している。気の遠くなるような根気のいる仕事に驚かされる。



端切れで作った小物入れ

小さな箱に押し絵が施された小物入れ。内部は和紙が貼られ、外側は押し絵のほか、小さな端切れで彩られている。

塚本さと 「生きた手本のおばあさん」と下田歌子に言われた

「77歳で学校を創立し女子教育に貢献」

五個荘の商人二代目塚本定右衛門の妹として生まれ、近江商人の妻として生きた塚本さとは、寺子屋で読み書きそろばんを習い、家庭で裁縫、生け花、茶道を学びました。商家の妻には更に必要なものがあると考え、年中行事、総菜の作り方、家事の心得、家具や衣類の手入れ方法を記した「しゅうと姑の饞別」という「商家の嫁の手引書」を息子の妻のためにまとめました。

五男三女をもうけたさとは、末の子の手がかからなくなった45歳ごろ、和歌を習い始めます。一流の歌人の添削を乞う中で巡り合ったのが、女



塚本さと



姑の饞別



卒業記念（第1回）

子教育の先駆者でもあった下田歌子でした。

「女に学問は要らぬ」と言われた時代に生きたさどでしたが、「時代の急速な進歩と変化に対応できる女性を育てる」には女子教育が必要と、大正8年（さと77歳）、私財を投じて私立淡海女子実務学校を設立しました。のちに下田歌子たんかいが経営を引き受けて淡海女子高等学校となり、地域の女子教育に大きな功績を残しました。



下田歌子

女子教育者であり歌人。実践女子大学の創設をはじめ多くの女子教育に関わる。



淡海女子実務学校



裁縫授業風景



音楽会

近江商人の家訓

近江商人の家には、商売の心得が代々家訓として残されています。現代にも通じるのではないのでしょうか。

**奢れるものは
必ず久しからず**
松居 遊見

必要以上に贅沢をし、気ままなふるまいをする者は長くその身を保つことができない。



松居遊見肖像

長者三代鑑
塚本 喜左衛門

一番下は懸命に働く創業者、二段目は芸事などに夢中になる二代目、上段には没落した三代目が描かれています。「創業者の苦勞を忘れるな」という戒めを表現しています。



塚本喜左衛門家の「長者三代鑑」
塚本喜左衛門家所蔵

積善の家には必ず余慶あり
塚本 喜左衛門

善い行いをし続ければ、必ず子孫によいことがある。

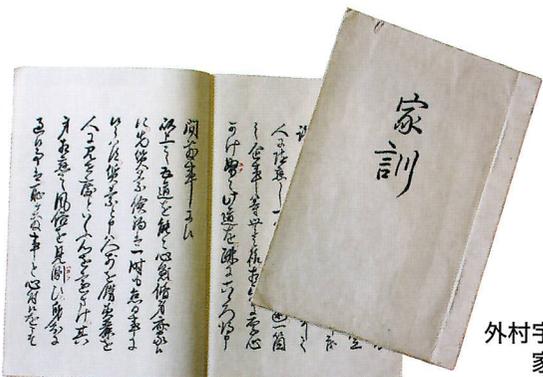
「易経」の中の一文中、現代でも大切に受け継がれています。



塚本喜左衛門家家訓 塚本喜左衛門家所蔵

**質素倏約はひと時も怠る事に
候はず**
外村 宇兵衛

質素倏約は常に実行し、一瞬でも無駄使いをしてはならない。



外村宇兵衛家
家訓

**目先当前の名聞に迷わず
遠き行く末を平均に見越すべし**

外村 与左衛門

目先の利益に迷わず、将来に展望のある商いをしなさい。

**家福申すも切り無し、不足申せば
切もなし、兎角八合留め納め**

塚本 定右衛門

幸福は望めば望むほど、不足は言えば言うほど限りがない。何事も八合目くらいの控えめに留めておくのがいい。

自彊不息
高田 善右衛門

常に自分からつとめて休まず励む。

この言葉は今でも地元の中学・高校の校訓として教え継がれています。



東近江市立五個荘中学校の石碑
渋沢栄一の筆



高田善右衛門肖像

商売は菩薩の業
伊藤 忠兵衛

商売は菩薩の仕事である。仏に成り代わって世間の過不足をうめるのが商人であり、仏様の御心になうものでなければならない。

**土地に惚れ 家業に惚れて
妻に惚れ 人より少し勉強せよ**
薩摩 治兵衛

後に、親交のあった伊藤忠兵衛によって三惚れ主義「在所に惚れよ、仕事に惚れよ、女房に惚れよ」として全国に広まりました。



「薩摩氏乃金言」掛軸

近江商人にみるSDGs

SDGsと三方よし「売り手よし、買い手よし、世間よし」

近江商人は、商いは売り手と買い手という当事者の都合だけでなく、その取引が世間にとっても良いものでなければならない、つまり社会全体の利益につながるものでなければならないという理念を持っていました。これが「世間よし」です。

これは、現代のSDGs(持続可能な開発目標)の理念と一致します。現代のSDGsの理念を、近江商人は100年以上も前から提唱し実践していたと言えます。

長者番付けにみる近江商人

「持丸長者」とは大金持ち、富豪のことです。

全国的に有名な富豪と共に、大勢の近江商人が名を連ねています。

お助け普請

飢饉の際には出店や本宅で現金や米の寄付を積極的に行いました。また、寺や本宅、庭の改修工事なども行い、困窮者に賃金を払うことで地域の人々を助けました。労働の対価を支払うという救済方法は「お助け普請」と言われ、世間よしの一例としても評価されています。



「東京持丸長者競」明治12年(全体)

商売をしているその地域社会にとって喜ばれる商いを

近江商人は近江から他国に出かけて商いをしたため、「よそ者である」という意識を大事にしていた。その地域に既にある商売と競争になるような商いをできるだけ避け、たとえば関東ではごり酒の時代に清酒を造って販売したのはその一例です。



「天秤の訓」藤井彦四郎邸の「てんびん像」

長寿の会社が多い

江戸時代後期から200年続く会社が日本では3000社に及ぶという統計があり、2位のドイツの800社を大きく引き離しています。特に近江商人の会社は長く続いています。



実業家
岸田劉生の父

創設者
慶應義塾の
近江商人

実業家

近江商人

近江商人

近江商人

三井系列
実業家

ホテル
オークラ

百貨店
近江商人

安田財閥
近江商人

松坂屋
デパート

近江商人

近江商人

白雪酒造

近江商人

三菱財閥

三井財閥



「東京持丸長者競」明治12年(部分)

注：ここでいう「近江商人」は近江出身者の商人も含む

近江商人の地域貢献 「世間よし」

近江商人は陰徳善事（人知れず社会に尽くす事）をよしとし、社会貢献にも努めました。

二代目塚本定右衛門

塚本家は甲斐国（現在の山梨県）で小間物問屋から事業を拡大しました。洪水や土砂崩れの防止として山梨県の植林事業や滋賀県での治山治水事業を成功させ、各地に功績をたたえた石碑が建てられています。明治期に滋賀県に2万円（現在の約4億円）の寄付をしたときに「自分には育った山林は見届けられないが天下の公益のためなら構わない。50年先の仕事しておくつもり」という言葉を残しています。勝海舟が「氷川清話」の中で定右衛門（定次）は「本気のすごい人だ」と高く評価しています。



二代目塚本定右衛門



塚本家が地域住民のために作った五個荘の紅葉公園

藤井善助

海外で吸収した知識と広い交友関係を活かし、幅広い文化活動の支援を行いました。京都市の有鄰館には、東洋美術の散逸を防ぐために収集した中国美術のコレクションが収蔵公開されています。



藤井善助



有鄰館（京都市）

秩父の矢尾商店

明治時代、秩父（埼玉県）で深刻な不況の折、武装した農民が高利貸しや豪商を襲撃する「秩父事件」が勃発。当時矢尾商店は、秩父きっての豪商であったにもかかわらず襲撃を免れました。他国者意識を忘れず、地元を受け入れられることに心を砕き、三方よしの精神で地元の人々のための商売をしていたことが評価されたからだと言われています。

「近江商人図鑑」発行に向けて

この冊子は近江商人を紹介する上ではほんの入り口にしか過ぎません。手に取っていただいた皆様が少しでも近江商人を知り、今なお活きているその教えの一端を受け取っていただけたら幸いです。

コロナ禍でSDGsを学ぶ中、SDGsを知るには近江商人と三方よしを学ぶことの方がわかりやすいこと、また商売の心得を伝えるだけでなく、人としての成熟も促していることがわかってきました。

「近江商人を知らないのはもったいない」という思いでこの冊子を作りました。

近江商人の教えは今の時代でも色褪せることなく私たちの心に響きます。そして未来を背負う子どもたちに少しでも伝えていければと願っています。

表紙の説明 五個荘の近江商人藤井彦四郎がポスター用に描かせたとされる「毛糸を編む女」

協力 東近江市近江商人博物館 上平千恵学芸員

- 参考文献 『子どものための近江商人図録 近江商人ってな〜に?』 東近江市近江商人博物館 2014年
 『東近江の商人群像 「三方よし」を実践した商人たち』 東近江市近江商人博物館 2007年
 『近江商人の里の女子教育 一下田歌子から塚本さとへ』 東近江市近江商人博物館 2019年
 『商家の家訓 一子どもたちに伝えたいこと』 東近江市近江商人博物館 2003年
 『近江商人博物館 常設展示案内』 東近江市近江商人博物館 2021年
 『近江商人の理念と商法』 NPO法人 三方よし研究所 2012年
 『近江商人ものしり帖 改訂版』 NPO法人 三方よし研究所 サンライズ出版 2008年
 『Q&Aでわかる近江商人』 NPO法人 三方よし研究所 サンライズ出版 2010年
 『12歳から学ぶ 滋賀県の歴史 改訂版』 滋賀県中学校教育研究会社会科部会編 サンライズ出版 2011年
 『近江商人に学ぶ』 サンライズ出版編集部 岩根順子 サンライズ出版 2003年
 『CSRの源流「三方よし」 近江商人学入門』 末永國彌著 青春出版社 2004年
 『近江商人の魂を育てた寺子屋 一川島俊蔵の教えに学ぶ』 中野正堂 法蔵館 2020年
 『語り継がれる近江商人 エピソード1』 東近江市近江商人博物館 2010年
 『近江商人を育てた寺子屋 一立身出世は読み書きそろばんから』 東近江市近江商人博物館 2014年
 『今、近江商人に学ぶこと ～共生する文化～』 東近江市近江商人博物館 2013年
 『今、近江商人に学ぶこと 再生する文化』 東近江市近江商人博物館 2008年
 『今、近江商人に学ぶこと 育成する文化』 東近江市近江商人博物館 2009年
 『シリーズ近江商人群像 藤井善助と有鄰館』 東近江市近江商人博物館 1999年

資料提供（敬称略・順不同）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 東近江市近江商人博物館 | 近江商人記念館 八年庵 |
| 特定非営利活動法人三方よし研究所 | 先人を偲ぶ館（豊郷町） |
| 滋賀大学経済学部附属史料館 | 東近江市立五個荘中学校 |
| 近江八幡市立資料館 | 一般社団法人東近江市観光協会 |
| 一般社団法人ツカモト資料館 聚心庵 | 塚本喜左衛門家 |

令和4年12月

発行 東近江市商工会女性部

〒527-0113 東近江市池庄町505

電話 0749-45-5077

